



品質向上と製品安全の確保

I 品質保証

当社グループは、品質方針である「顧客第一、品質第一を念頭におき、信頼性の高い製品およびサービスを提供する」の実現に向けて、その理念のさらなる深化を図っています。この方針のもと、マテリアリティのひとつに「品質向上と製品安全の確保」を位置づけ、取り組みを推進しています。加えて、品質管理基準の再整備を行い、「リケンスタンダード」のグループ内への浸透を図るとともに、自動化を取り入れたグローバル品質保証体制の構築を推進し、品質保証機能の高度化を進めています。

■ 品質保証体制

当社は品質方針のもと、ISO9001に準拠したものづくりに取り組んでいます。海外連結子会社を含む全生産拠点と連携し、定期的に実施している品質改善活動を通じて、原材料の受入から製品の納入に至るまで全工程における品質管理の徹底を図っています。

2025年度においては、当社グループ各社に対し、発生事例の共有や品質リスクの低減に向けた取り組み等の水平展開による発生源対策と流出対策に注力しました。今後もグループ全拠点への展開および実施状況の監査・監視を通じて、品質問題の発生防止に努めていきます。

I 購買・物流

当社はグローバル企業として、世界各地から多様な原材料・資材の調達を行っています。これまで、お取引先様との強固なパートナーシップを基盤に、品質・価格・安定供給を総合的に評価した購買活動を展開してきました。一方で、近年は地政学リスクの高まりや環境規制の強化により、調達環境が大きく変化しています。こうした環境変化に対応するため、2025年度は新規サプライヤーの開拓および複数購買の推進を強化しました。具体的には、アジアを中心に新たに複数のサプライヤーを採用し、複数購買率の向上と供給リスクの分散を図っています。

■ 品質改善活動

2025年度は不良の定義および集計方法を見直して明確化し、海外連結子会社を含む全拠点で共通KPIに基づく品質管理体制の運用を開始しました。さらに、標準偏差管理やCpk（工程能力指数）管理を活用して品質のばらつきを可視化し、生産工程の安定化を目指した作業方法の見直しや監視を行いました。また、未然防止/流出防止/再発防止を念頭に置いた地道なQCパトロールをはじめとする継続的な改善活動を行いました。

2026年度は統計的工程管理（SPC）/工程内検査の自動化を活用した異常の早期発見、DXによる属人化業務の削減等によるさらなる製品の品質改善と安定化を進め、「市場回収を伴う重大品質事故（単体）：0件」の継続を目指していきます。また、2026年度中に品質管理のグローバルスタンダードとなる「品質管理プロセス指針」の確立を目指し、全拠点における品質管理体制のさらなる強化を推進していきます。

マテリアリティ：品質向上と製品安全の確保

KPI	2025年度実績	2027年度目標
市場回収を伴う重大品質事故（単体）	0件	0件
化学物質の使用に関する法令順守・重大法令違反（単体）	0件	0件

また、当社は公正で透明性の高い取引の推進を重要な責務と認識しており、下請代金支払遅延等防止法をはじめとする適正取引関連法令の遵守に努めています。2025年度は、取適法対応状況の調査を実施するとともに、購買システムの改修を行い、取引の可視化と適正化を推進しました。これにより、公正なサプライチェーンの構築を一層強化しています。

物流面では、改正物流関連法への対応を進めるとともに、中継配送の導入検討や輸送効率の改善により、安定した供給体制の維持と環境負荷低減の両立に取り組んでいます。

■ 購買体制

当社では次の購買方針のもと、お客様により安全で信頼性のある製品を提供するため、お取引先様各社の協力を得て、サプライチェーンを含めたより良い環境システム・品質システムの構築に努めています。また、環境方針・リケンテクノスグ

■ 購買方針

1 公正な購買取引と選定	対等な立場で取引を行います。複数購買を原則とし、公正公平な取引機会を提供します。選定にあたっては、国内外を問わず、グローバルな視点から適正な品質、価格、環境への対応を考慮します。
2 パートナーシップの構築	お取引先様と良きパートナーとして、継続的な信頼関係を築き、共に価値を創出しながら持続的な成長を目指します。
3 関連法令の遵守と自主管理	お取引先様との機密情報の管理を徹底し、社会的規範に従い各国の関連法令を遵守して購買を行います。
4 持続可能な社会の実現	購入にあたっては、SDGsや気候変動への対応として環境配慮型原材料の積極採用と既存原材料からの転換などを推進します。
5 人権の尊重や不当な差別の排除	紛争地域や高リスク地域はもちろん、その他地域においても、紛争の手助けや不法労働（人権侵害、児童労働など）により得られた原材料の調達は行いません。

■ グリーン調達基準

当社グループは地球環境保全活動を推進しており、その一環としてグリーン調達に取り組んでいます。

各国では製品や廃棄物からの環境汚染防止のために規制物質が年々更新、増加してきており、化学物質含有情報の把握・伝達が今まで以上に重要となっています。当社もリケンテクノスグループグリーン調達基準の制定にあたり、より細部にわたり化学物質含有情報が入手できるように「化学物質含有情報シート」を作成し、運用しています。

当社グループはお取引先様と共同で環境保全を進め、資源の有効活用に取り組んでいます。

リケンテクノスグループグリーン調達基準は当社ホームページに掲載しています。

▶ <https://www.rikentechnos.co.jp/csr/governance/scm/>

■ 製品の安定供給

当社は「Global One Company」の実現に向け、グローバルで競争力を有するサプライヤーとの連携強化を進めています。2025年度は以下の取り組みを実施しました。

- ・アジア・欧州を中心とする新規サプライヤーの開拓
- ・複数購買の推進による供給リスク低減
- ・海外グループ会社との購買連携強化

これらの取り組みにより調達の柔軟性と安定性が向上し、供給リスクの低減を実現しています。

ループグリーン調達基準に基づき、環境協力要請や各種コミュニケーションツールを活用し、持続可能なサプライチェーン構築を推進しています。さらに、継続的なコストダウンのために購入窓口を広げ、競争力のある原材料調達に努めています。

■ ESG基準によるサプライヤーの管理

当社は、持続可能なサプライチェーン構築に向け、ESGおよびSDGsの観点からサプライヤー評価を実施しています。

2025年度は外部機関を活用し、ESG評価の高度化を図りました。アンケートの結果、国内209社、海外5社の合計214社から回答を得ました。このうち、評価点数の低い項目があった52社に対しては再確認を行い、2026年2月までにすべてのフォローアップを完了しています。また、お取引先様との協働による環境対応強化の一環として、発注ロットの見直しによる輸送効率改善と、輸送回数削減によるCO₂排出量の低減を実施しています。

■ 物流における取り組み

国内物流においては、労働力不足や労働時間規制への対応が重要課題となっています。当社では以下の施策を推進しました。

- ・中継配送の導入による長距離輸送の削減
- ・倉庫配置の最適化による倉庫間輸送の積載効率の向上

これらの取り組みにより、持続可能な物流体制の構築を進めています。